

ダイワ米国厳選 バリュー株ファンド (ダイワSMA専用)

運用報告書(全体版) 第8期

(決算日 2022年11月28日)

(作成対象期間 2021年11月30日～2022年11月28日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	2015年3月6日～2025年11月28日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国厳選株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ米国厳選株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式(上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR(預託証券)を含みます。)	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (円換算)		株 式 組 入 率	株 式 先 物 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
4 期末 (2018年11月28日)	10,983	0	0.1	12,101	5.7	94.2	—	3,944
5 期末 (2019年11月28日)	12,367	0	12.6	13,678	13.0	94.7	—	2,036
6 期末 (2020年11月30日)	13,824	0	11.8	14,987	9.6	95.5	—	406
7 期末 (2021年11月29日)	18,267	0	32.1	20,726	38.3	90.7	—	783
8 期末 (2022年11月28日)	19,385	0	6.1	22,205	7.1	94.4	—	373

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

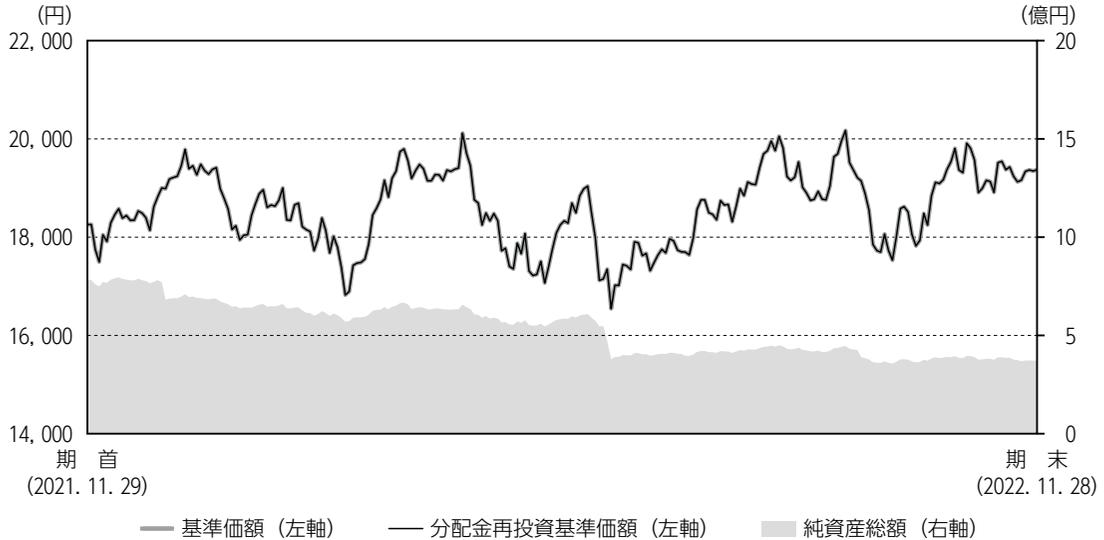
(注6) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。

S & P 500指数は S & P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「S P D J I」) の商品であり、この使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S & P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは S P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国厳選バリュー株ファンド (ダイワSMA専用) は、S P D J I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しては一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：18,267円

期末：19,385円 (分配金0円)

騰落率：6.1% (分配金込み)

基準価額の主な変動要因

米国株式市況は下落したものの、米ドルが対円で上昇 (円安) したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選バリュー株ファンド (ダイワSMA専用)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		株 式 組 入 率 比	株 式 先 物 率 比
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期 首) 2021年11月29日	18,267	—	20,726	—	90.7	—
11月末	18,267	0.0	21,000	1.3	92.1	—
12月末	19,249	5.4	21,859	5.5	93.9	—
2022年 1 月末	18,456	1.0	20,285	△ 2.1	94.0	—
2 月末	18,399	0.7	20,088	△ 3.1	94.2	—
3 月末	19,567	7.1	22,334	7.8	94.4	—
4 月末	18,499	1.3	21,377	3.1	93.9	—
5 月末	18,259	△ 0.0	21,138	2.0	95.9	—
6 月末	17,677	△ 3.2	20,695	△ 0.1	95.9	—
7 月末	18,666	2.2	21,736	4.9	97.7	—
8 月末	18,757	2.7	21,910	5.7	96.3	—
9 月末	17,735	△ 2.9	20,902	0.9	95.5	—
10 月末	19,922	9.1	22,932	10.6	96.6	—
(期 末) 2022年11月28日	19,385	6.1	22,205	7.1	94.4	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2021. 11. 30 ~ 2022. 11. 28）

■ 米国株式市況

米国株式市況は、下落傾向が続きましたが、当作成期末にかけて反発しました。

米国株式市況は、良好な企業決算の発表や経済指標が支えとなり、当作成期首から2021年末にかけて高値圏で推移し、2022年初めに当作成期の高値を記録しました。その後、F R B（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締め懸念で金利が上昇したことや、ロシアによるウクライナ侵攻で地政学リスクが顕在化したことを受け、株価は3月半ばにかけて下落しましたが、F R Bの利上げ決定後はいったん反発しました。4月から6月半ばにかけては、インフレ率の予想以上の上昇を受けてF R Bが利上げを加速するとの思惑が強まったことなどから下落しました。6月半ばにF R Bが利上げ幅拡大を決定した後は、悪材料出尽くし観測などから上昇に転じ、またインフレ率がピークアウトするとの期待感などもあり、8月中旬にかけて上昇が続きしました。10月半ばにかけては、F R B議長がインフレ抑制姿勢を強調したこと、予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、企業業績の見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、下落しました。その後は、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感され、当作成期末にかけて株価は反発しました。

■ 為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首よりおおむねレンジ内での推移が続きましたが、米国の利上げ回数の増加観測などを受けて上昇しました。2022年に入ってから、レンジ内での推移が続いた後、3月にF R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを大幅に引き上げたのに対し、日銀は指値オペを行い長期金利上昇の抑制を図るなど、日米の金融政策の相違がより明確となって、円安米ドル高が大きく進行しました。7月後半には、米国金利が低下に転じると日米金利差の縮小が意識され、円が買い戻されたことで円高米ドル安となる場面があったものの、その後は米国金利の上昇により日米金利差が再度拡大したことなどから、円安米ドル高が進行しました。当期末にかけては、米国のインフレ減速期待などから日米金利差の縮小が意識され、円高米ドル安が進みました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて

(2021. 11. 30 ~ 2022. 11. 28)

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

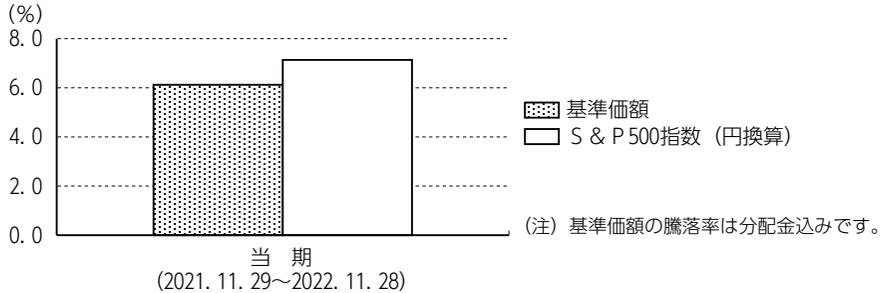
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融や一般消費財・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、WILLIS TOWERS WATSON (金融)、AMAZON.COM (一般消費財・サービス)などを高位で組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳 (1万口当り)

項 目	当 期	
	2021年11月30日 ～2022年11月28日	
当期分配金 (税込み)	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	9,384

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2021. 11. 30~2022. 11. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	271円	1.459%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は18,599円です。
(投 信 会 社)	(200)	(1.075)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(61)	(0.329)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(10)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	7	0.038	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(7)	(0.038)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.001)	
そ の 他 費 用	5	0.029	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.024)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	284	1.527	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

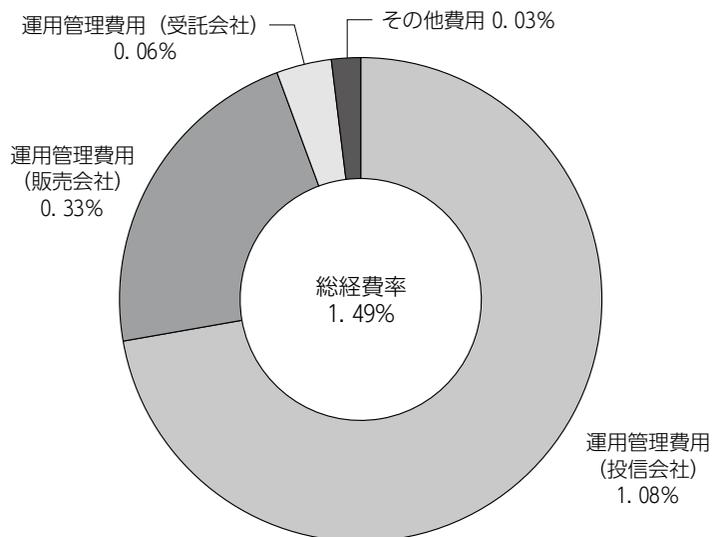
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.49%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2021年11月30日から2022年11月28日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株マザーファンド	2,743	15,000	81,120	450,500

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年11月30日から2022年11月28日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	5,554,563千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,264,741千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.30

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株マザーファンド	140,735	62,357	371,597

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年11月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	371,597	98.7
コール・ローン等、その他	4,883	1.3
投資信託財産総額	376,480	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=139.10円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(4,137,089千円)の投資信託財産総額(4,310,759千円)に対する比率は、96.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年11月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	376,480,454円
コール・ローン等	1,383,445
ダイワ米国厳選株マザーファンド(評価額)	371,597,009
未収入金	3,500,000
(B) 負債	3,074,777
未払信託報酬	3,063,265
その他未払費用	11,512
(C) 純資産総額 (A - B)	373,405,677
元本	192,626,984
次期繰越損益金	180,778,693
(D) 受益権総口数	192,626,984口
1万口当り基準価額 (C / D)	19,385円

* 期首における元本額は428,996,451円、当作成期間中における追加設定元本額は1,398,324円、同解約元本額は237,767,791円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は19,385円です。

ダイワ米国厳選バリュー株ファンド（ダイワSMA専用）

■損益の状況

当期 自2021年11月30日 至2022年11月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 957円
受取利息	493
支払利息	△ 1,450
(B) 有価証券売買損益	29,358,520
売買益	46,464,365
売買損	△ 17,105,845
(C) 信託報酬等	△ 7,850,170
(D) 当期損益金 (A + B + C)	21,507,393
(E) 前期繰越損益金	42,470,331
(F) 追加信託差損益金	116,800,969
(配当等相当額)	(57,675,594)
(売買損益相当額)	(59,125,375)
(G) 合計 (D + E + F)	180,778,693
次期繰越損益金 (G)	180,778,693
追加信託差損益金	116,800,969
(配当等相当額)	(57,675,594)
(売買損益相当額)	(59,125,375)
分配準備積立金	63,978,681
繰越損益金	△ 957

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：3,069,900円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	21,507,725
(c) 収益調整金	116,800,969
(d) 分配準備積立金	42,470,956
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	180,779,650
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	180,779,650
(h) 受益権総口数	192,626,984口

ダイワ米国厳選株マザーファンド

運用報告書 第21期 (決算日 2022年11月28日)

(作成対象期間 2022年5月31日～2022年11月28日)

ダイワ米国厳選株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。また、DR（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

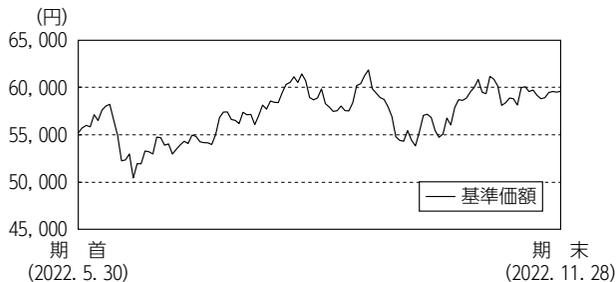
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ米国厳選株マザーファンド

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		S & P 500指数 (円換算)		株式組入 比率	株式先物 比率
	円	%	(参考指数)	%		
(期首) 2022年5月30日	55,203	—	49,856	—	98.0	—
5月末	55,716	0.9	50,323	0.9	98.0	—
6月末	54,012	△ 2.2	49,269	△ 1.2	96.3	—
7月末	57,102	3.4	51,745	3.8	97.7	—
8月末	57,458	4.1	52,161	4.6	96.2	—
9月末	54,394	△ 1.5	49,761	△ 0.2	95.5	—
10月末	61,171	10.8	54,594	9.5	96.5	—
(期末) 2022年11月28日	59,591	7.9	52,863	6.0	94.9	—

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
 (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
 (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
 (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：55,203円 期末：59,591円 騰落率：7.9%

【基準価額の主な変動要因】

米国株式市況が下落したことにより、保有株式が軟調に推移したものの、為替相場が円安米ドル高に推移したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は下落しました。
 米国株式市況は、当作成期首より、CPI (消費者物価指数) が大きく予想を上振れたことなどから利上げ織り込みが加速し、景気後退が懸念されて下落しました。しかし、2022年6月半ばにFRB (米国連邦準備制度理事会) が利上げ幅拡大を決定した後は、悪材料出尽くし観測やインフレ率のピークアウト期待などから、株価は8月中旬にかけて上昇しました。10月半ばにかけては、FRB議長がインフレ抑制姿勢を強調したこと、予想以上のインフレ率の上昇

や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、企業業績の見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、下落しました。その後は、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感され、当作成期末にかけて株価は反発しました。

○為替相場

米ドルは対円で上昇 (円安) しました。
 米ドル対円為替相場は、2022年6月に米国で大幅な利上げが行われたことなどから、上昇しました。7月後半には、米国金利が低下に転じると日米金利差の縮小が意識され、円が買い戻されたことで円高米ドル安となりました。8月は、米国金利の上昇により日米金利差が再度拡大したことなどから、円安米ドル高が進行しました。その後は、FRB (米国連邦準備制度理事会) が大幅な金融引き締めを決定したのに対し、日銀は金融緩和政策の維持を決定したことで急速に円安米ドル高が進行しました。これを受け、日本政府・日銀は円買い介入を実施したものの影響は限定的なものにとどまりました。当作成期末にかけては、米国のインフレ率減速期待などから日米金利差の縮小が意識され、円高米ドル安が進みました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資してまいります。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求してまいります。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融や一般消費財・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、WILLIS TOWERS WATSON (金融)、AMAZON.COM (一般消費財・サービス)などを高位で組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資してまいります。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求してまいります。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	9円 (9)
有価証券取引税 (株式)	1 (1)
その他費用 (保管費用) (その他)	9 (9) (0)
合 計	19

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

株 式

(2022年5月31日から2022年11月28日まで)

外国	株 数	買 付		売 付	
		金 額	株 数	金 額	株 数
アメリカ	百株 807.76 (396.53)	千アメリカ・ドル 7,818 ()	百株 1,786.28	千アメリカ・ドル 11,765	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

株 式

(2022年5月31日から2022年11月28日まで)

当 期				当 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
SALESFORCE.COM INC (アメリカ)	10.69	239,975	22,448	FISERV INC (アメリカ)	18.721	267,232	14,274
ORACLE CORP (アメリカ)	17.17	183,536	10,689	KEURIG DR PEPPER INC (アメリカ)	49.255	254,601	5,169
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN (アメリカ)	12.52	177,743	14,196	CITIGROUP INC (アメリカ)	16.81	119,625	7,116
CAPITAL ONE FINANCIAL CORP (アメリカ)	9.647	142,869	14,809	MASTERCARD INC - A (アメリカ)	2.1	102,017	48,579
ALPHABET INC-CL A (アメリカ)	2.798	117,008	41,818	VISA INC-CLASS A SHARES (アメリカ)	3.38	93,270	27,594
AMAZON.COM INC (アメリカ)	3.926	49,674	12,652	ALPHABET INC-CL A (アメリカ)	3.006	92,594	30,803
CONOCOPHILLIPS (アメリカ)	3.625	42,865	11,824	LIVANOVA PLC (イギリス)	12.78	89,417	6,996
CBRE GROUP INC - A (アメリカ)	3.755	38,588	10,276	SCHWAB (CHARLES) CORP (アメリカ)	8.068	85,898	10,646
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP (アメリカ)	3.78	27,595	7,300	AMAZON.COM INC (アメリカ)	3.679	63,236	17,188
WILLIS TOWERS WATSON PLC (アイルランド)	1.035	27,076	26,160	AMERICAN INTERNATIONAL GROUP (アメリカ)	7.717	59,376	7,694

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

外国株式

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
CITIGROUP INC	168.1	—	—	—	金融
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	—	121.25	1,298	180,667	金融
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN	53.35	41.54	574	79,883	一般職・サービス
WENDY'S CO/THE	692.15	571.8	1,281	178,322	一般職・サービス
HCA HEALTHCARE INC	73.38	57.92	1,386	192,852	ヘルスケア

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
AMAZON.COM INC	8.73	177.07	1,654	230,072	一般職・サービス
FISERV INC	306.65	119.44	1,224	170,277	情報技術
ALPHABET INC - CL A	11.12	239.7	2,336	324,953	コミュニケーション・サービス
META PLATFORMS INC CLASS A	52.5	56.72	631	87,899	コミュニケーション・サービス
MANPOWERGROUP INC	125.5	110.5	975	135,675	資本財・サービス
KKR & CO INC	179.91	177.6	920	128,091	金融

ダイワ米国厳選株マザーファンド

銘柄	期首		当期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千円	千円		
LIVANOVA PLC	127.8	—	—	—	ヘルスケア	
CONOCOPHILLIPS	—	33.24	421	58,632	エネルギー	
BOOKING HOLDINGS INC	6.65	5.08	1,008	140,239	一般消費・サービス	
CHARTER COMMUNICATIONS INC—A	42.82	38.57	1,504	209,297	コミュニケーション・サービス	
CBRE GROUP INC—A	185.4	198.09	1,530	212,939	不動産	
SALESFORCE.COM INC	—	101.37	1,554	216,232	情報技術	
WILLIS TOWERS WATSON PLC	67.5	68.2	1,664	231,492	金融	
VISA INC—CLASS A SHARES	33.8	—	—	—	情報技術	
NETFLIX INC	31.1	26.96	769	107,081	コミュニケーション・サービス	
ORACLE CORP	—	162.55	1,344	187,035	情報技術	
MASTERCARD INC—A	21	—	—	—	情報技術	
BANK OF AMERICA CORP	272.1	268.38	1,011	140,740	金融	
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	258.5	219.13	1,338	186,177	金融	
NOV INC	160.15	—	—	—	エネルギー	
KEURIG DR PEPPER INC	492.55	—	—	—	生活必需品	
SCHWAB (CHARLES) CORP	223.5	146.22	1,193	165,988	金融	
CAPITAL ONE FINANCIAL CORP	—	91.57	931	129,564	金融	
BLACKROCK INC	17.32	14.67	1,082	150,551	金融	
LEAR CORP	78.35	60.37	868	120,755	一般消費・サービス	
ファンド	株数、金額	3,689.93	3,107.94	28,507	3,965,427	
合計	銘柄数<比率>	25銘柄	24銘柄		<94.9%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年11月28日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 3,965,427	% 92.0
コール・ローン等、その他	345,332	8.0
投資信託財産総額	4,310,759	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝139.10円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(4,137,089千円)の投資信託財産総額(4,310,759千円)に対する比率は、96.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年11月28日現在

項目	当期末
(A) 資産	4,310,759,610円
コール・ローン等	230,835,668
株式(評価額)	3,965,427,025
未収入金	113,844,165
未取配当金	652,752
(B) 負債	132,500,000
未払解約金	132,500,000
(C) 純資産総額(A-B)	4,178,259,610
元本	701,154,280
次期繰越損益金	3,477,105,330
(D) 受益権総口数	701,154,280口
1万口当り基準価額(C/D)	59,591円

* 期首における元本額は782,314,303円、当作成期間中における追加設定元本額は66,654,748円、同解約元本額は147,814,771円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額:

ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイー Aコース (為替ヘッジあり)

134,953,897円

ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイー Bコース (為替ヘッジなし)

503,842,475円

ダイワ米国厳選株パリュール株ファンド(ダイワSMA専用)

62,357,908円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は59,591円です。

■損益の状況

当期 自2022年5月31日 至2022年11月28日

項目	当期
(A) 配当等収益	35,112,315円
受取配当金	20,598,094
受取利息	541,018
その他収益	13,983,448
支払利息	△ 10,245
(B) 有価証券売買損益	285,543,488
売買益	672,235,741
売買損	△ 386,692,253
(C) その他費用	△ 641,420
(D) 当期損益金(A+B+C)	320,014,383
(E) 前期繰越損益金	3,536,330,924
(F) 解約差損益金	△ 688,685,229
(G) 追加信託差損益金	309,445,252
(H) 合計(D+E+F+G)	3,477,105,330
次期繰越損益金(H)	3,477,105,330

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

S & P 500指数は S & P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S & P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは S P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国厳選株マザーファンドは、S P D J I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。